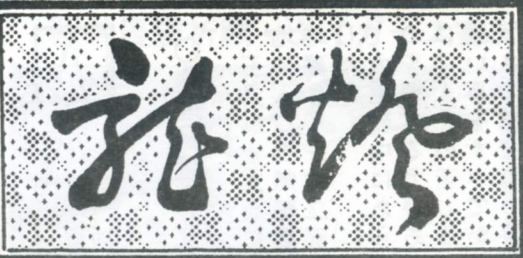


第23号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 霊亀山 九島 禅院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住職 奥田啓知(智證)



映画『失楽園』大反響

楽園を失ってからでは遅いよ

大阪にオリンピックを！ 九条に中華街を！ 二十一世紀まであと二年！

男、久木祥一郎五十五才、女松原凜子三十八才といえ、映画『失楽園』の主人公です。左遷された出版社の編集者が、医者、妻で書道家の人妻と不倫のすえ、心中という破局を迎える小説ですが、日経新聞に連載されるや大反響を呼び、映画館は一時的な夢を求める女性たちであふれ返っているようです。小柄も家内とさっそく観に行きましたが、複雑な想いをのこしながら、家路に就きました。

「男と女はここまで愛し合えるのか」との映画の宣伝文句に効いたのか、『失楽園症候群』なる社会現象すら起こっており由々しき問題だと言えます。元禄時代には、京・大坂を中心に心中が流行しそれが浄瑠璃などにになり、触発されて次の心中事件がおきたそうです。幕府も心中者の刑罰を重くし、心中事件の出版上映を禁止したといえます。

浮気・不倫・心中は当然のこゝろと宗教心からみて、許されていけません。仏教では、不殺生戒（盗

むなかれ）・不邪淫戒（淫らで邪な性を行なうなかれ）・不妄語戒（嘘をつくな）・不飲酒戒（酒を飲むな）の五戒を定めています。三番目の不邪淫戒には夫以外の男性、妻以外の女性とのセックスを戒めています。でも、これは道徳律ではありません。完全に守りきれなくてもよいのです。大事なものは、懺悔することなのです。

もし浮気をして、奥さんにバレてしまった時など、奥さんとの愛を守ろうと考えているのなら、率直に懺悔するしかないのです。いろいろと取り繕ったり嘘をついたりしてはいけません。それは一つ戒を破って、またもう一つ戒を破ることになるからです。嘘をつくこと、つじつまを合わせるために、また嘘をつかねばなりません。戒を次々に破ることになってしまいます。ただひたすら懺悔し、自分の弱さを反省して、許しをこうすることで、それこそが愛を取り戻す唯一の道なのです。

浮気をされた奥さんも、ご主人を信じていればいたほど、シ

ヨックは大きいですが、浮気をされる側にも省みてほしいのです。結婚して何年もたつと、夫婦関係がマンネリ化して、主人は地位も上がり仕事が忙しくなり奥さんは育児や家事に追われる家庭が省みられず、ギスギスした雰囲気になります。二度と浮気をさせないためには、こんな環境を改めていかねばなりません。フランスの格言に「愛はいつも、いっそう深まっていくんだんだん冷えていくかのどちらかである」とありますが、夫婦の愛情も、深める努力を怠ったとき、冷却にむかっていくのです。

結婚した夫婦は、愛があつて結婚した。けれども、結婚生活のなかで日々、その愛を深める努力を続けないと、愛は冷却してしまします。完全に冷えきつてからでは遅いのです。いますぐ、愛を深める努力をはじめてほしいのです。とくに『失楽園症候群』の方には！





○六地藏建立しました

五月二十九日に境内墓地の入口の無縁雑壇に六地藏さんを建立安置しました。

大地の中にあらゆるものを育てる力があるように、人々の苦しみを救い願う事をすべてかなえて下さる慈悲深い菩薩さまが、地藏さんです。この無限の慈悲心のために、六道(地獄から人・天までの六つの迷いの世界)の人々を救済しようとする願を起され、特に、死んでいった人の過去の罪障も救済して下さる所から、墓地の入口に立っています。墓参の折には、ご先祖さまに思いをよせ、線香をたむけて下さい。

○九条町おこし

今春ドーム球場が完成し、九条の町に人が戻ってきました。往昔の「西の心斎橋」の賑



わいを復活させようという地元の有志の方々も「二十一世紀の九条を語る会」を中心に、町おこしに乗り出しています。左面の「阪神優勝祈願タイガース寄席」や「九条下町味めぐりと座禅の会」など、当院も積極的に協力させていたでいてあります。寄席には、当院での「小咄の会」顧問で師匠ゆずりの虎キチの落語家桂一蝶師や住職の大学の落語研究会の大先輩で昨年末より「ヨードル食べ放題」というコミカルソングで売り出し中の桂雀三郎師が、歌や小話で

第四回修養会のご案内

本年の修養会は、京都修学院離宮内にある門跡寺院林丘寺と臨濟宗相国寺派大本山相国寺や黄檗宗の尼寺閑臥庵を拝塔します。林丘寺は後水尾法皇の皇女光子内親王が遺命により開基された、音羽御所の通称をもつ門跡寺院です。平素拝観謝絶でめったに拝塔できない寺院です。当院とは光子内親王様が御父君の法皇さまの御念仏と御尊牌を御奉納されています。また、閑臥庵はテレビにも度々報道された黄檗宗特有の普茶料理で有名な寺院で、御所の鬼門封じに法皇さまが祈願所とされた寺院で、当日は尼住職心尽くしの普茶料理を頂く予定です。是非、お誘いの上ご参加下さい。

募 集 要 項

- 日 時 10月19日(日)を予定(9時出発)
- 集合場所 九島院より貸し切りバスに乗車
- 旅 程 九島院-林丘寺-閑臥庵(普茶料理)-相国寺-九島院(4時頃解散)
- 会 費 1万円(食事・拝観料込み 当日徴収)
- 募集人員 40名(満員になり次第締め切り)

※日時は7月末日までに確定しますので、お問い合わせの上、お申し込み下さい。申し込みは、当院(☎06-583-2725)まで。

「味めぐりと座禅体験」いかが

大阪・九条の市民グループ「21世紀の九条を語る会」(谷口靖弘代表)は、ドームの間の下町情緒を紹介する「味めぐりと座禅体験ツアー」の参加者を募集している。5月18日午後3時、地下鉄「九条駅」の3号出口に集合。▽安治川トンネル▽シネ・ヌーヴォ▽茨住吉神社▽竹林寺▽一文菓子屋▽九島院——などを見学して同6時30分に同3号出口で解散する。途中、紙芝居を楽しんだり、抹茶ドーム菓子など九条名物を味わったりし、九島院では、奥山啓知住職の指導で座禅を体験する。案内は、旅行コンサルタントで、浪速短大講師の谷口代表。参加費は1500円。申し込みは同会(☎06-584-6139)

大阪にオリピックを！ 九条に中華街を！ 二十一世紀まであと二年！

阪神優勝祈願・タイガース寄席



タイガース寄席であいさつする大津淳さん

きょう二十四日、大阪ドームの延長工事が九条直前で止まると見られ、タイガースを、ドームの地元誘致と球団の活躍はわれわれの長年の願い。大阪活性化のツッセイも披露され、住民ら「阪神優勝祈願・タイガース寄席」が二十三日夜、ドーム（同会・沢田整長さん）高座ではまず「V祈願祭」を無宗教式で開催。「全一ム近くの寺院で行われた。前夜祭には熱狂的ファンの約百人が集結し「戦いはこと、応援のプロシを上げた。守りたまえ」と祈りを捧げた。この日はタイガースOB会と、虎ファンを自認する桂副会長と長年、吉田義男監督、一蝶や桂倉三郎らが応援合戦とともにプレーした大津淳さんとともに「防衛率が悪く、選手に自信を持たせることが肝心。二十四日ゲームを観戦する。」

戦いはこれからや

きょう大阪ドーム初見参

ホテルリンクス大阪

TEL 06-447-9000 FAX 06-447-9001

地下鉄阿波座徒歩3分の土佐堀3丁目バス停前に、天然温泉が湧くビジネスホテルが出来ました。「花乃井」と名付けられた温泉だけでも利用できます。15階建てで客室は354室です。当院でのご法事に遠方のご親戚衆のご宿泊に是非、ご利用下さい。同ホテルは住職の実兄が関係する会社が経営しています。

熱狂的な虎ファン100人集結

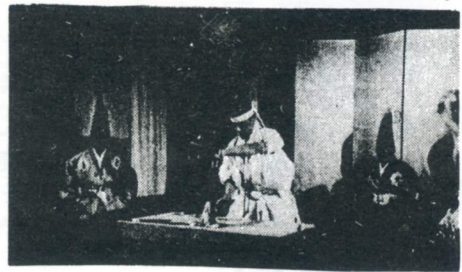
○割烹むろ多を紹介します

地下鉄中央線・大阪港駅を降りて天保山ハービービルにむかう途中、桜通りに入ったところに、創業五十年の割烹むろ多があります。若主人室田大祐氏とは数年まえより懇意にしており、当院でのご法事をされるお檀家さ

んに、むろ多の会席料理を紹介し、大変喜ばれています。若主人は、料亭大和屋で修行を積み、単身オーストラリアへ包丁一本を携え修行に出られた経験の持ち主で、料理に対するこだわりは人一倍、素材を吟味し、既製品を使わず、手間暇かけた手作り料理は絶品です。

今春には近鉄百貨店で開催された「料理の達人技展」で関西の料理の達人百二十人にまじりその妙味を披露されました。またインテックスでの「食の博覧会」には、格式の高い包丁式を披露されました。ご法事の会席料理など手頃な価格でしていただけます。食する時刻にあわせて配膳してくるなど気配りも十分です。是非、お問い合わせのうえ、ご利用ください（電話〇六一五七一〇〇三四）

四条流包丁儀式を勤める 若主人大祐氏 (食の博覧会インテックスにて)



二十一世紀にはいる平成十二年は当院創建三百三十年です！

● 棺桶にラブレター

最近住職墓地を整備している折、一枚の銅銭を見つけました。「嘉慶通寶」とあるので、年代を調べると、日本の南北朝時代、西暦1387年が北朝の制定した嘉慶元年にあたるので、素晴らしいと見と小躍りしたのも東の間、貨幣年鑑を調べたところ、中国「清」の嘉慶年代に作られたもので、がっかりしました。きっとお棺に入れられた六文銭（三途の川の渡し賃）だと思えます。

さて、お棺には、納棺の際に死に装束（白ずくめの巡礼姿）に六文銭入りの頭陀袋、わらじや杖、編み笠を入れたものです。最近では簡略化され、葬儀社が用意する略式のものをつけ、故人生前の愛用品などを入棺します。

ラジオでこんな素敵な話を聞きましたので紹介します。病床の夫が友人に、「退院したら家内に渡すと思うが、それまで預かってくれないか」と一通の封筒を預けたそうです。ところが容体が急変し、急逝されたそうです。お通夜の席で、託された友人かと思われ、妻はその封筒を受け取りました。中身は何かと封を切ってみると、一万円札が七枚入っていました。封書は入っておらず、何かの支払いかとも考えましたが、思い当たる節もなく、どうやら自分へのプレゼントのようでした。奥さまは、ご主人のお棺にお礼の手紙をしたため、100度数のテレホンカードを入れられたそうです。

ほのぼのとした夫婦愛の話ではありませんか。悲しいことには一人では黄泉（死に行くところ）に赴かぬばなりません。でも、奥さまのお気持ちはきっと、亡くなったご主人に届いているものと思います。百度数のテレホンカードでは足りないのご加護があるでしょう。



奉納抄

永代供養冥加金壹百万円奉納
（平成九年三月二十六日）

本年一月十八日にご逝去された、故田中はる様（清壽院春苑廣雅大姉）の追善供養に、実姉中田みつ様より永代供養冥加金として金壹百万円が奉納されました。はる様のご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

▼「人生とは 友との出会い 人と人とのふれあい♪」これは、友人中瀬古秀次郎氏が作詩作曲した「出会い」という歌の一節です。

▼この春、次女の通う花乃井中学校のPTAの役員に推薦され、受けることとなりました。

▼町づくりやPTAの方々との交流を通して、人情深い下町情緒の残っている希少な町、九条のよさを再認識しました。

どの方々も九条という町を心底愛しているのです。

▼当院も、この九条の地に誕生して、平成十二年には、創建三百三十年になりました。その長い風雪を郷土の人々が影に日向に当院を護ってくれたのです。

▼「地域あつてのお寺」を忘れずに、できるだけ、町おこしに協力していこうと考えています。松島中華街構想や九条映画祭など、わくわくする計画も持ち上がっています。四十路の不惑の年を、感々しつつ精進していきます。

二十一世紀にはいる平成十二年は当院創建三百三十年です！

水灯会（うらぼん施餓鬼法要）

8月19日（火）
午後1時半より

ご先祖供養です。宗旨に関係はありません。ご回向のお申し込みをお願いします

法 話 ・ 住 職

ご案内